

第2回戦没者遺骨収集における同位体分析の活用に係る検討会
分析手順・データ検証等のワーキンググループ議事要旨

日時：令和5年3月20日 10:00～11:30

開催形式：WEB会議

出席者：構成員：(五十音順)覚張隆史構成員、陀安一郎構成員、米田穰構成員
事務局：高島戦没者遺骨鑑定推進室長、他

議事要旨：

同位体分析結果の検証等について

○参照した炭素・窒素安定同位体に関する日本人分布域から外れた同位体分析値は、 ^{13}C の値が推定される日本人の値より高いので、日本人ではない可能性があるが、放射性炭素年代測定の結果、古墓遺骨であった旨を追記。

○個体数の確定と個体を判別するには、放射性炭素年代測定の他、安定同位体分析、DNA分析が必要である旨を追記。

○分析に係る元データについて、保管ルールを作り管理することがより適切。